

医療機関等の看護管理機能向上支援研修Ⅰ  
『コロナ禍における看護職連携を考える会』開催要領

1 目的

看護職は、未知のコロナウイルスが感染拡大していく中においても、看護を提供し続けるため奔走してきた。コロナ禍において実践された看護職連携の実際を知り、その効果や課題を踏まえ、医療状況がひっ迫する同様の状況を想定した場合、どのような看護職連携の在り方が望ましいのかを考え、備えるための機会とする。

今回は、病院間の看護職連携を主に考える。

2 日時 令和4年1月27日(木) 午後1時30分～4時

3 場所 宮城県看護協会協会会館・看護研修センター 大ホール(3階)

4 内容 ① 報告：コロナ禍における宮城県看護協会の取り組み

② シンポジウム

「(仮) コロナ禍で発揮されたリーダーシップ」

演者

i 派遣した立場：東北公済病院 看護部長 阿部 玲子 氏

ii 要請した立場：仙台市立病院 看護部長 杉本美枝子 氏

iii 後方支援の立場：長町病院 看護部長 阿部由起子 氏

iv 行政の立場：宮城県医療人材対策室看護班長 川端美樹 氏  
座長 宮城県看護協会 会長 石井 幹子

③ 講演

「(仮) 医療提供体制確保が困難な中における看護管理者への期待」

講師 公益社団法人日本看護協会 会長 福井トシ子 氏

5 定員 協会参集100名 (他に施設からのオンライン参加可能)

6 費用 無料

7 対象 病院・行政の看護管理者等(看護部長、副看護部長、師長、課長、係長等)

8 申込 1月5日(水)まで裏面様式にて申込み下さい。オンラインで参加する施設には、1月20日頃必要なID・パスワードを送付します。